

ゲームや会話で国際交流

豊里でジュニア国際塾



民族衣装を着て写真撮影をする園児

県国際交流協会が主宰するジュニア国際塾「世界と仲良しになろう！」(豊里町国際交流協会主催)が11月9日、豊里幼稚園で開催されました。豊里保育園と豊里幼稚園の



国旗や世界地図を使って母国の紹介をする3人の外国人

5歳児、豊里町国際交流協会会員ら約80人が参加。県国際交流協会職員と県内在住の3人の外国人(イタリア、タイ、中国内モンゴルの出身者)を迎えて、ゲームなどで交流をしました。
3人は、国旗や世界地図を使って母国の紹介をした後、園児たちとあいさつの仕方やゲーム遊びを指導。遊戯の後に、内モンゴルの民族衣装を着て写真撮影をしました。
その後、国際交流協会会員らを対象にした講話もあり、参加者は県内の国際化に関する現状の理解を深めていました。

秋を全身で感じながら疾走

石越であげみちマラソン大会

第30回石越あげみちマラソン大会(石越公民館、石越地区体育協会、いしこしE.N.J. O.Y.Sポーツクラブ共催)が11月5日、石越総合運動場を主会場に開催されました。
大会には、石越小と石越中の全校生徒と一般の部の出場者総勢514人が参加しました。各部門の男女一位の選手は次のとおりです。
【小学1年の部】平塚絢士君、

二階堂季香さん【小学2年の部】佐藤朋輝君、菅原美羽さん【小学3年の部】金澤佑哉君、鈴木美咲さん【小学4年の部】阿部恭士君、千葉はづきさん【小学5年の部】高任龍二君、新田未希さん【小学6年の部】佐々木翔人君、阿部亜美さん【中学生の部】佐藤伸君、佐藤智美さん【一般の部】千田君男さん、佐藤清生子さん



一般、中学生の部が一齐にスタート

体験を通して将来を考える

東和中1年生が職場体験学習



こん包作業の体験をする生徒たち

東和中1年生による職場体験学習が11月7日、市内の各事業所で実施されました。
この取り組みは、働く事の意義や将来になりたい職業を考える事を目的に開催され、興味のある仕事ごとに数人のグループに分かれて実施されました。

東和総合支所には4人の生徒が来庁。簡単な事務作業や環境に関する国際的な基準「ISO14001」のメニューとなる、分別されたリサイクル用紙のこん包作業などを職員と協力して作業に取り組みました。
作業体験の後には、職員から市の組織や総合支所の業務内容の説明を受けました。質問の時間も設けられ、仕事をしたい楽しい事やつらい事など、職員から聞いたことを熱心にノートに書き込んでいました。



ミニ新幹線の試乗をする参加者たち

ミニ新幹線運転試乗会（宮城県民共済主催）が11月10日、南方子育てサポートセンターで実施されました。試乗会は、子どもたちが、交通マナーに関心を持ってもらうことを目的に実施しています。

市内から34組79人の親子が参加。参加者は会場内に敷かれた特設線路を走るミニ新幹線に乗って、楽しい時間を過ごしました。ミニ新幹線は、一度に5組の親子を乗せ、大人が歩くくらいの速さで全長約80mの線路を1周します。終了後には、参加者全員にぬりえや鉛筆などの記念品が贈られました。



おいとこ節の唄に合わせて踊る参加者

第15回伊達なおいとこ踊り宮城大会（奥州森邑十三講秋祭り奉賛会主催）が11月13日、森公民館で開催されました。市内外から4歳から88歳までの25組が参加。子どもも多数参加し、大人顔負けの堂々とした唄と踊りを披露しました。会場からは拍手と歓声が起っていました。大会で一番の踊り手に贈られる宮城県知事賞は、伊藤円香さん（登米町）が受賞しました。

南方でミニ新幹線運転試乗会

ミニ新幹線がやってきた！

登米市のずんだ餅が大人気

2005中田の物産展in横浜



大盛況だったずんだ餅の試食会

2005中田の物産展in横浜（横浜市泉区中田連合自治会主催）が11月13日、横浜市で開催されました。この催しは、中田町が平成5年から交流している横浜市泉区中田地区との交流事業の一環で、同地区文化祭に参加し出店したものです。市職員やみやぎ北上商工会、農産加工グループら17人が参加。地場産品を4トトラックいっぱいを持参して、販売や試食会をしました。

低農薬で栽培された新米や野菜、果物、油ふ、こうじ味噌などが大好評で、瞬く間に完売しました。また、「みやこがね」を使ったずんだ餅の試食には、長蛇の列ができていました。訪れた方々は、登米市産の豊富で新鮮な農産物を堪能していました。

伝統の唄と踊りを競い合う

迫で伊達なおいとこ踊り宮城大会



子どもも多数参加し、大人顔負けの踊りを披露しました